

【宮代町】
校務DX計画

令和 7 年 3 月

1 計画の趣旨

本計画は、教職員及び学校内関係者等の負担軽減・コミュニケーションの迅速化や活性化を推進していくために定めるもの。

2 校務DXにかかる整備状況

宮代町では、平成 28 年度からオンプレミス型で校務支援システムを導入し、教職員の働き方改革を推進するための環境を整備している。

令和 5 年度に、校務支援システム・校務用PCを更新した際、教職員の使用する学習系端末で校務支援システムの一部の機能を使用できるように整備し、児童生徒の出席状況等を教室内で学習系端末上にて把握することができるように整備している。

3 校務DXへの取組状況

(1) 安心安全な通学環境の整備

令和 5 年度の校務支援システムの更新に伴い、心の健康観察アプリを導入し、児童生徒の心の健康状況を迅速に把握することで、児童生徒が安心して学校で学べる環境づくりを推進している。

(2) 地域・家庭との連携

保護者連絡アプリを令和 6 年度から導入し、保護者と学校が連携を取れる体制を構築。また、学校ホームページにて、地域への情報発信を実施している。

(3) 複合機における自動採点

中学校 3 校に複合機を使用したデジタル採点システムを導入、教職員の負担を軽減するための取組を推進している。

(4) ダッシュボード機能

校務支援システム機能の一部として、ダッシュボード機能導入し、児童生徒の情報を一元管理することで、個別最適な学びの提供を推進している。

4 校務DXにかかる課題と今後の検討

(1) クラウド環境の構築

次回の校務支援システムの更新においては、校務支援システム用端末と教職員の使用する学習用 1 人 1 台端末を統合し、校務DXをより進めるための検討をしていく。

また、校務系ネットワーク・学習系ネットワークの統合についても検討を進めていく。

(2) 押印の廃止

押印については、令和 7 年度末を目標に原則廃止とする。

すでに県様式を準用する書類等については、押印を廃止済。

(3) F A Xの廃止

教育委員会事務局と各小中学校間の連絡手段としてFAXを使用してきた中で、令和6年度途中からFAXの使用を減らすように各小中学校へ指導している。

今後は情報漏洩を防ぐこと・個人情報保護についても考慮し、FAXを使用せずメール等でやり取りをしていくことをさらに推進していく。

取組を推進することで、令和7年度末を目標にFAXの原則廃止とする。

(4) ペーパーレスの推進

学校現場の状況を把握し、ペーパーレス化を更に推進していく。